

1. 多様な主体との協働

| | | | | | | |
|------------|--|------------------|-----|----|--------|----|
| No | 1-1 | 自治基本条例による町民参画の推進 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 自治基本条例に定められている住民参加（パブリックコメントやアンケートなど）の具体的な手続きについて確実に実施する必要がある。また、パブリックコメントなどの手法を実施しても寄せられる意見は少数で、自治基本条例の実効性を一層高める必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 自治基本条例の推進による、住民自治の醸成 | | | | | |
| 実施内容 | 自治推進委員会において運用状況を検証しながら、必要に応じた条例の見直しを検討する。 条例の『具体的な制度・手続き』の規定を職員が再認識したうえで、条例の理念を理解し効果的な運用を行いながら、住民自治を醸成できるよう取り組みを継続する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 自治推進委員会による条例の推進状況の検証 | 検証 | 検証 | 検証 | 検証 | 検証 |
| ② | 自治推進委員会による条例の見直し | | | | 諮問・見直し | |
| ③ | 条例運用方法の改善 | 改善 | | | | 改善 |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|---|
| H29 | 【条例推進状況の検証】 ・自治基本条例の推進状況を検証した。 | ・条例の効果的運用を行うための検証や改善を継続して実施する。 ・H32年度条例の見直しを予定している。 |
| H30 | 【条例推進状況の検証】 ・平成29年度の町民参加実績を検証するとともに、自治基本条例の運用課題である「町民意志を反映させるための町民参加の手法」「審議会委員の公募」について改善に向けた意見交換を行い、今後の取組に町民意見を吸い上げる機会の拡充方法や審議会委員として参加がしやすい環境づくり等の条例運用の実効性を高める改善策が出された。 | ・条例の効果的運用を行うための検証や改善を継続して実施する。 ・R2年度に条例の見直しを予定している。 |
| R1 | 【条例推進状況の検証】 ・平成30年度の町民参加実績を事務局で検証したが、委員会における自治基本条例の推進状況の検証等については、新型コロナウイルス感染防止のため委員会を開催することができず、実施できなかった。 | ・条例の効果的運用を行うための検証や改善を継続して実施する。 ・R2年度に条例の見直しを行う。 |
| R2 | 【条例の見直し】 ・町長から条例の見直しについて自治推進委員会に諮問をし、3回委員会を開催して審議を行った。条例の運用状況の検証を踏まえ、見直しの必要性、見直しする条文の協議を行い、町長に見直しの内容について答申した。 ・運用状況の検証に基づいた見直しは行わず、文言の使い方の整理等による見直しを行うこととした。 | ・R3年度に答申内容について議会常任委員会に諮り、パブリックコメントを実施して、条例改正案を議会定例会に提案する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | ・パブリックコメント等に寄せられる意見は少数であるので、他の手法と併用して効果的な組み合わせを検討する。 ・審議会等委員の中で公募委員が少ない状況であり、各審議会に委員を積極的に公募対象とする。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

1. 多様な主体との協働

| | | | | | | |
|------------|--|---------------|------|------|-----|---------------|
| No | 1-2 | 広報広聴による情報の共有化 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | H27に実施した総合計画の町民アンケートにおいて、「まちづくりの情報が伝わっている」35.8%、「町民が意見を伝える機会がある」39.2%といずれも半数を下回る結果となった。広報誌は月2回発行しふれあいトークも各地区で実施しているが、一層の情報共有に努める必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 町民との情報共有のための広報広聴事業の効果的運用方法の検討 | | | | | |
| 実施内容 | 広報誌の内容について広報モニターの意見や町民の意向を確認し、分かりやすい情報の伝達方法を検討しながら業務改善を図る。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 広報広聴事業の効果的な運用の検討 | 見直し | 運用検討 | 運用検討 | 見直し | 運用検討 |
| ② | 広報誌リニューアル | 広報誌 リニューアル | | | | 広報誌 リニューアル |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|---|
| H29 | <p>【運用の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討の結果、動画やSNSを用いた情報発信を開始した。 <p>【広報誌リニューアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度にプロポーザルを実施し、29年度から広報誌をリニューアルした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き広報広聴事業の在り方を検討する。 ・ 31年度にプロポーザルの実施、32年度に広報誌リニューアルを予定している。 |
| H30 | <p>【運用の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より効果的な広報広聴事業の実現に向け、広報モニター会議において既存の各種情報発信媒体の運用及び分かりやすい情報の伝達方法について検討した。月2回発行の広報誌についても、代替手段があれば、月1回発行にできるとの意見があり、その後も代替手段について検討を行い、翌年度にFMあばしりを活用することとなった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き広報広聴事業の在り方を検討する。 ・ 令和1年度にプロポーザルを実施し、令和2年度に広報誌リニューアルを予定している。 |
| R1 | <p>【運用の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の伝達方法として、広報誌(広報おおぞら・まちのおしらせ)の他、ホームページ・ツイッター・FM放送などの媒体の活用方法について広報モニター等を通じて町民の意見を聞きながら検討した。 ・ 広聴事業についてはふれあいトークの開催方法やふれあい意見箱・町長へのメールなど、町民皆さんが意見を言いやすい場の設置に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌の統合に伴うリニューアルを令和2年度に予定していたが、町民の意見を十分に把握した上でとの意見があったため、令和2年度に広報広聴に関するアンケート調査を行い、令和3年度にリニューアル(広報誌2誌の統合)した広報誌発行を目指す。 |
| R2 | <p>【運用の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌のリニューアルについては、月1回発行を視野に入れ検討したが、町民アンケートの結果等から広報誌以外の広報媒体充実を優先すべきという結果となり、令和5年度までに推進することとする。なお、紙面については、紙質、デザイン等を一新し、より読みやすい紙面づくりと予算削減に努めた。 ・ リアルタイムな情報提供を図る広報媒体として、既存のホームページ、LINE、FM放送に加え「Twitter」の運用を開始し、「地デジ広報」についても検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 誌面での情報提供はタイムラグがあり、デジタル媒体等による情報提供に努める。 ・ 広報誌以外の広報媒体の充実を図るため、根幹となるホームページをより利用しやすいデザインに更新するよう検討する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙ベースからパソコンやSNS等デジタル媒体を活用した広報が今後一層求められることとなり、その状況を鑑みた施策を検討する必要がある。 ・ 町民との情報共有はまちづくりの基本であり、引き続き町民の声が町に届けられるような仕組み(現在の取り組みとあわせて)を検討する。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

1. 多様な主体との協働

| | | | | | | |
|------------|--|--------------------|---------|---------|---------|---------|
| No | 1-3 | 審議会や委員会等への新たな人材の任用 | | | | |
| 所管課 | 全課 | | | | | |
| 現状課題 | 行政運営に町民の意見を取り入れるために、審議会や委員会等を設置し参加の仕組みをつくっているが、年代の偏りや担い手不足の現状から新たな人材の任用が困難となっている。また、委員の公募を行っても応募する町民はほとんどいない状況にある。 | | | | | |
| 目標 | 審議会や委員会等の新たな人材の任用による、まちづくりの担い手育成 | | | | | |
| 実施内容 | 現在の審議会や委員会の現状を把握し、現行の委員の意見を踏まえた審議会や委員会等のあり方を再検証する。 潜在的な人材の掘り起しを行うため、審議会委員の選考についても積極的な公募を実施する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 審議会や委員会等の現状把握 | 必要な見直し | 必要な見直し | 必要な見直し | 必要な見直し | 必要な見直し |
| ② | 審議会委員等の積極的な公募 | 公募枠拡大検討 | 公募枠拡大検討 | 公募枠拡大検討 | 公募枠拡大検討 | 公募枠拡大検討 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|--|
| H29 | <p>【委員会等の現状把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各委員会共通の課題として、委員のなり手不足があり、各委員の在任期間が長くなる傾向がある。 <p>【公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民自治推進委員会、子ども子育て会議、広報モニター等で委員公募を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な年代、職種からの意見聴取が可能な委員会の仕組みを考える必要がある。 各審議会等において、今後も積極的な公募を推進する。 |
| H30 | <p>【委員会等の現状把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会等の委員については、団体に推薦を依頼することが多いため、同じ方を推薦いただく場合が多い。 <p>【公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政改革推進委員会、地域づくり懇談会、広報モニター、都市計画審議会、高校魅力化プロジェクト検討委員会で委員公募を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 再任に関する規定を設けることや、推薦依頼先の見直しを行うことで、新たな人材の任用に繋げていく。 各審議会等において、今後も積極的な公募を推進する。 |
| R1 | <p>【委員会等の現状把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各委員の推薦については団体等に依頼している状況。在任期間が長期化している傾向がある。 <p>【公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画策定委員会、定住自立圏共生ビジョン懇談会、都市計画審議会等で委員公募を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 再任の委員や高齢の委員が多いことから、新たな委員募集を推進する。 各審議会等において、今後も積極的な公募を推進する。 |
| R2 | <p>【委員会等の現状把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各委員の偏りを是正するため、新たな委員のなり手を開拓することに配慮している。 <p>【公募】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治推進委員会、廃棄物減量等推進審議会、行政改革推進委員会で委員公募を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 再任の委員や年齢がやや偏った委員が多いことから、新たな委員募集を推進する。 各審議会等において、今後も積極的な公募の実施により、女性の参画推進にも寄与したい。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | まちづくり参画に対する魅力向上の取り組みを検討する必要がある | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input checked="" type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

1. 多様な主体との協働

| | | | | | | |
|------------|--|----------------|-----|----|----|----|
| No | 1-4 | 自主的な地域活動の推奨と支援 | | | | |
| 所管課 | 住民課・住民福祉課・総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 人口減少や高齢化などにより、地域活動の主力とされる自治会の運営や活動に限界が生じ、問題が浮き彫りとなっている。防災や災害時においても地域のコミュニティが重要視される中、町民と行政の役割を明確にした上で、行政支援のあり方を検証する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 町民の自主的な活動への支援による、自治意識の高揚と魅力的な地域づくりの促進 | | | | | |
| 実施内容 | 町民の意見を踏まえながら自治会のあり方を継続的に検討しつつ、防災活動や芸能文化活動など自主的な町民の地域活動を推奨し支援の仕組みを構築する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 自治会活動のあり方の検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 |
| ② | 自主防災組織への支援 | 支援 | 支援 | 支援 | 支援 | 支援 |
| ③ | 元気づくり応援事業による自主活動への支援 | 支援 | 支援 | 支援 | 支援 | 支援 |
| ④ | 地域担当職員による自治活動支援 | 支援 | 支援 | 支援 | 支援 | 支援 |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|--|--|--|
| H29 | <p>【自主防災組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3自治会で自主防災組織が形成されたほか、防災訓練等を開催する自治会もあり、防災意識が高まっている。 ・平成28年に大空町自主防災組織活動補助金交付要綱を制定した。 <p>【元気づくり応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり12の事業に対し支援を行った。 地域づくり振興事業 5件 芸術文化活動事業 4件 地場産業振興事業 2件 その他事業 1件 <p>【地域担当職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員の自治会活動の支援は継続実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も自主防災組織への支援を継続するとともに、自主防災組織形成を促進する。 ・継続して事業を行う。 ・町民の自主的な活動の支援方法を検討していく。 |
| H30 | <p>【自主防災組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに組織された自主防災組織は無かった。 <p>【元気づくり応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり12の事業に対し支援を行った。 地域づくり振興事業 3件 芸術文化活動事業 3件 地場産業振興事業 2件 その他事業 4件 <p>【地域担当職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員の自治会活動の支援は継続実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の形成を推進するため、一層の周知に努めたい。 ・継続して町民の主体的な活動を支援する。 |
| R1 | <p>【元気づくり応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり11の事業に対し支援を行った。 地域づくり振興事業 6件 国外研修事業 1件 地場産業振興事業 2件 その他事業 2件 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続して町民の主体的な活動を支援する。 |
| R2 | <p>【元気づくり応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり4つの事業に対し支援を行った。 地域づくり振興事業 2件、芸術文化活動事業 1件、 地場産業振興事業 1件 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続して町民の主体的な活動を支援する。 |
| R3 | 《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》 | |
| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
| <input type="checkbox"/> 改善した | 町民の自主的な活動を応援するという趣旨の補助金であり継続していくこととするが、同一事業の複数年の申請について事業の自立を促すなど、広く町民が行うまちづくりに対して応援できるように対応していく。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

1. 多様な主体との協働

| | | | | | | |
|------------|--|----------|-----|----|----|----|
| No | 1-5 | 産学官連携の推進 | | | | |
| 所管課 | 全課 | | | | | |
| 現状課題 | 高等教育機関や民間企業がめざす社会的役割を本町において活かす環境をつくり、互いの必要性のマッチングを考えながら地域社会へ貢献すべき事業を検討する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 高等教育機関や民間企業と連携した事業展開の推進 | | | | | |
| 実施内容 | 町民や各機関との協議を踏まえ、具体的な実施事業を検討していく。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 高等教育機関との連携事業の検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 |
| ② | 民間企業との連携事業の検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | <p>【連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 網走市と共同で東京農大オホーツクキャンパスを核としたインターンシップの活用による就労機会の創出と若者定着推進事業を実施した。 ・ 網走市、東京農大、JAと共同で地域特産品の機能性商品を試作した。 ・ 北見市を中心として複数の民間事業者や自治体で構成するオホーツクサイクリングブランド化推進協議会を設立し、ブランド化に向けた調査及び事業を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して事業を実施。 ・ 継続して事業を実施。 ・ 継続して事業を実施。 |
| H30 | <p>【連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き東京農大オホーツクキャンパスを核としたインターンシップの活用による就労機会の創出と若者定着推進事業を実施した。 ・ 町外の方が定住し、通年働くことができる町独自の雇用システムの調査・検証を行う「大空町地域雇用創出協議会」を東京農大、民間事業者と連携し設立した。 ・ 引き続き地域特産品の機能性商品開発事業を実施した。 ・ サイクリングのブランド化に向けた連携事業を継続して実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して事業を実施。 ・ 継続して支援を実施。 ・ 継続して支援を実施。 ・ 継続して支援を実施。 |
| R1 | <p>【連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリングのブランド化に向けた連携事業を継続して実施した。 ・ 網走市と共同で東京農大オホーツクキャンパスを核としたインターンシップの活用による就労機会の創出と若者定着推進事業を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して支援を実施。 ・ 事業最終年度を迎えたため、実施主体であるインターンシップ受入広域協議会を解散した。 |
| R2 | <p>【連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリングのブランド化に向けた連携事業を継続して実施した。(ホームページ、PR事業実施) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して支援を実施。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 外国人向けの情報発信やキャッシュレス推進など海外からの観光客に対応する仕組みづくりや、推奨ルートのナビ化を進めることによりオホーツクの地域資源を最大限に活用し、滞在型ツーリズムによる地域活性化を図る。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

1. 多様な主体との協働

| | | | | | | |
|------------|---|-----------------|------|------|------|------|
| No | 1-6 | 外郭団体による拠点施設の活性化 | | | | |
| 所管課 | 地域振興課・産業課・生涯学習課 | | | | | |
| 現状課題 | 地域振興や観光、教育文化などの各分野の拠点施設については一定の役割を担いつつも、変化し続ける時代背景に合わせた新たな事業展開が期待されている。 | | | | | |
| 目標 | 外郭団体の利点を活かした拠点施設の活性化と新たな展開への検討 | | | | | |
| 実施内容 | 大空町地域振興施設の運営方法について継続した協議を実施する。 道の駅や乳酪館における一層の活性化へ向けた事業展開を検討する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 大空町地域振興施設の運営方法の協議 | 協議 運用開始 | 運用改善 | 運用改善 | 運用改善 | 運用改善 |
| ② | 道の駅や乳酪館等の新事業の検討 | 検討 | 検討 | 検討 | 検討 | |
| ③ | 社会教育施設での新事業の検討 | 検討 | 検討 | 検討 | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | <p>【地域振興施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年9月にグランドオープンし、指定管理施設として運営している。 町民、観光客からの意見を取り入れながら運営改善に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> 町民や観光客にとって利用しやすい施設を目標に運営改善を進める。 新事業については今後も検討内容とする。 |
| H30 | <p>【地域振興施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月に地域振興施設駐車場においてビアガーデンが開催され、多くの町民が訪れ町内の活性化が図られた。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も指定管理者側が施設を活用する各種イベントを企画するよう促し、町内の活性化につなげたい。 |
| R1 | <p>【地域振興施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外イベント開催時等の駐車スペース不足を解消するため、近隣の民有地を取得し公共駐車場として整備した。4月からご当地スイーツの販売を開始し、9月にオープン2周年記念行事を開催、多くの来場者が訪れ活性化が図られた。 <p>【道の駅メルヘンの丘めまんべつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> キッチンカーを集めたイベント開催などを検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き指定管理者と連携し、より集客力が高い地域活性化に資するイベント開催等を検討する。 開催に向けて準備していきたい。 |
| R2 | <p>【地域振興施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス蔓延防止対策により、大幅な人流抑制となった。ビアガーデンや地場産品直売会などの恒例イベント開催は全て中止した。 <p>【道の駅メルヘンの丘めまんべつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス蔓延防止対策により、恒例イベント開催は全て中止となったが、緊急事態宣言等期間外に地場産品提供を主とした小規模な各種フェアを実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 入り込みの低調は当面続き、インバウンド回復は全く見通せないことから、国内需要の取込みと消化を目指す。女満別地区の民間宿泊施設が減少したことから、今後徐々に回復を見込む大口需要(ツアー、合宿など)を積極的に受け入れられるよう、体制強化を検討する。 今後も新型コロナウイルス感染来策を講じたうえで、新たなイベント開催に向けて準備していきたい。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 各種イベントは地域にとって恒例行事となり、大変盛況である。しかし、新型コロナウイルスにより従来のイベントが制限される中で、今後の開催スタイルを模索していく必要がある。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input checked="" type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

2. 事務事業改善による行政サービスの質の向上

| | | | | | | |
|------------|---|-----------------------|----------|----------|----|----|
| No | 2-1 | ICTを効果的に活用した行政サービスの向上 | | | | |
| 所管課 | 総務課・住民課・建設課 | | | | | |
| 現状課題 | 住民基本台帳ネットワークの構築や社会保障・税番号制度（マイナンバー制度※）の開始、インターネットの普及などICT技術は、急速に発展しているものの、費用対効果や個人情報管理の問題から、すぐに町民の利便性の向上につなげられない現状にある。 | | | | | |
| 目標 | ICTの効果的活用への検討による町民サービスの向上 | | | | | |
| 実施内容 | 税・料金等のコンビニ収納やクレジットカード納付、各種証明書等のコンビニ発行など、ICT技術の進歩の状況を把握し定期的に再検討する。高度通信技術を利用した情報伝達方法の検討を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 税・料金の納付方法の検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | | |
| ② | 証明書等コンビニ発行の検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | | |
| ③ | 高度通信技術を利用した情報伝達方法の検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|--|
| H29 | <p>【納付方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討の結果、変更しないこととした。 <p>【コンビニ発行の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討の結果、費用対効果を考え導入しないこととした。 <p>【高度通信技術を利用した情報伝達方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月～3月、インターネット利用のための超高速ブロードバンド未整備地域（条件不利地域・対象659世帯）を対象としたアンケート調査を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に、超高速ブロードバンド基盤整備に向けて現地調査・設計書作成を予定している。 |
| H30 | <p>【納付方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討の結果、変更しないこととした。 <p>【コンビニ発行の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討の結果、現状の費用対効果を踏まえ、導入を見送ることとした。 <p>【高度通信技術を利用した情報伝達方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信基盤整備に係る調査設計を実施した。総務省の支援策が見直され、国の基盤整備に対する支援の考え方が変わったことから、整備手法を変更して検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町民の利便性の向上と行政コストのバランスを考え引き続き情報収集及び検討を行うこととする。 ・令和元年度（H31年度）に実施設計を行い、総務省「高度無線環境整備推進事業」により民設民営での情報通信基盤整備を目指す。 |
| R1 | <p>【高度通信技術を利用した情報伝達方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信基盤整備に係る調査設計（実施設計）を行い令和2年度の利用申請に向けた準備を進めた。整備対象地域に対して整備実現に向けた概要説明・意向調査を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に総務省「高度無線環境整備推進事業」（民設民営）による基盤整備実施予定。 |
| R2 | <p>【コンビニ収納の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ収納システムの仕組みの構築 <p>【高度通信技術を利用した情報伝達方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信基盤の整備が完了 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月から運用開始。 ・令和3年4月から町内全域で光ブロードバンドサービスの提供開始。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 高速な通信サービスを活用した町民サービス（双方向型の情報発信手段など）の検討中であり、学校教育や農業への波及が期待できる。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

2. 事務事業改善による行政サービスの質の向上

| | | | | | | |
|------------|---|-----------------|----------|----|----|----|
| No | 2-2 | 事業改善のための意向調査の実施 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 総合計画や新たな条例など、施策レベルの町民参画は審議会での審議やパブリックコメントなどで行っているが、各種事業の業務改善のためには事業レベルの町民の意向を積極的に確認する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 町民へのリサーチによる各種事業やサービスの改善に向けた分析 | | | | | |
| 実施内容 | 町民に負担のかからない調査方法を検討し、調査すべきものを厳選したうえで意向調査を実施する。調査後の分析をした上で改善すべき点を明確にするとともに、透明性の確保のため結果の報告も行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 意向調査の効果的な方法の検討 | 検討 | 検討 試行 | 検討 | 検討 | |
| ② | 意向を踏まえた分析結果の事業への反映 | | | | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | 【意向調査の効果的な方法の検討】 ・調査手法及び対象事業について検討した。 | ・引き続き検討するとともに、調査を試行する。 |
| H30 | 【意向調査の効果的な方法の検討】 ・町民負担を考慮し、各事業所管課で聴取している意見に基づいての事業改善に留まった。 | ・今後町民負担の少ない調査方法を検討し、試行することとする。 |
| R1 | 【意向調査の効果的な方法の検討】 ・調査手法及び対象事業について検討を行ったが、試行には至っていない。 | ・調査方法等を引き続き検討する。 |
| R2 | 【意向調査の効果的な方法の検討】 ・総合計画の見直し（全戸）、都市計画マスタープランの見直し（抽出）に際してアンケート調査を行い、それぞれ計画に反映した。 | ・幅広い調査項目である総合計画の結果を、分野別の計画に引用するなど効率的に活用する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 調査対象者・項目を意識的に厳選し、回答負担の軽減に努め、直近調査結果の引用するなどの改善は浸透している。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

2. 事務事業改善による行政サービスの質の向上

| | | | | | | |
|------------|--|------------------------|-----|----|-----|------|
| No | 2-3 | 事務事業評価の実施と行政評価方法の継続的検討 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 行政評価を取り入れる自治体が年々増加し必要性が高まる一方で、効果的な評価方法が確立されておらず多様な業務を評価する方法は機能していない現状にある。従来の統一的な評価による仕分け的な考え方から、事業の改善に向けた評価方法へ転換する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 町民ニーズに即した事務事業評価方法の確立 | | | | | |
| 実施内容 | 第2次大空町総合計画の目標を見据え、各事業の目的に向けた事業のあり方を検証し町民ニーズに即した事業展開を図れるような評価方法を確立できるよう継続的に検討する。 第2次総合計画の基本計画に定めた施策（事業目的）を踏まえ、実施計画の各事業の手法及び成果の検証を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 事務事業評価の実施 | 試行実施 | 実施 | 実施 | 見直し | 試行実施 |
| ② | 外部評価方法の検討 | 検討 | 検討 | 試行 | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | <p>【事務事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合計画実施計画ローリング時に、事業進行状況及び事業効果についての評価を実施した。 <p>【外部評価の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部評価方法について検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価について、現在の手法を継続実施し、評価の予算への反映を図る。 引き続き検討する。 |
| H30 | <p>【事務事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合計画実施計画ローリング時に、事業進行状況及び事業効果についての評価を実施した。また、評価基準についての見直しを行った。 <p>【外部評価の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部評価方法について、手法・組織等について検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価について、現在の手法を継続実施し、評価の予算への反映を図る。 効率的で効果的な評価方法について引き続き検討し、試行する。 |
| R1 | <p>【事務事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合計画実施計画ローリング時に、事業進行状況及び事業効果についての評価を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価について、現在の手法を継続実施し、評価の予算への反映を図る。 外部評価について、効率的で効果的な評価方法について引き続き検討する。 |
| R2 | <p>【事務事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合計画実施計画ローリング時に、事業進行状況及び事業効果についての評価を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価について、現在の手法を継続実施し、評価の予算への反映を図る。 外部評価について、効率的で効果的な評価方法について引き続き検討する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 行政評価に関する意識が定着してきており、常に事業見直しの視点を持ち続けるために、継続する必要がある。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

2. 事務事業改善による行政サービスの質の向上

| | | | | | | |
|------------|--|-------------------|-----|-----|-----|-----|
| No | 2-4 | 社会背景に即した指針や方針の見直し | | | | |
| 所管課 | 全課 | | | | | |
| 現状課題 | 合併後10年が経過するなかで、これまで作成した各業務の指針や方針について、人口減少時代の到来による社会背景の変化から、時代に即した見直しが必要となっている。 | | | | | |
| 目標 | 第2次大空町総合計画の基本構想や行政改革大綱の基本的考え方を踏まえた各指針の見直し | | | | | |
| 実施内容 | 各課で定める指針や方針の内容を確認し、総合計画や行政改革大綱に即した見直しを行い、H33までに改定作業を実施する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 各指針や方針の改定作業 | 指針等洗出し | 検討 | 見直し | 見直し | 見直し |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | <p>【指針・方針の改定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次使用料・手数料改定に向けて使用料・手数料設定方針を見直した。(職員人経費の修正等)(参考) 大空町認定こども園基本構想を策定した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・その他指針等を洗い出し、見直しを検討する。 |
| H30 | | <ul style="list-style-type: none"> ・指針・方針について適宜見直しを行う。 |
| R1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・指針・方針について適宜見直しを行う。 |
| R2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・指針・方針について適宜見直しを行う。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 令和3年度に行う第4次行政改革大綱・推進計画の策定に向けて、各年度ごとに進捗状況を取りまとめている。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

2. 事務事業改善による行政サービスの質の向上

| | | | | | | |
|------------|--|------------------|-----|----|----|----|
| No | 2-5 | ニーズに応じた指定管理業務の改善 | | | | |
| 所管課 | 総務課・施設所管課 | | | | | |
| 現状課題 | これまでの行政改革において公の施設管理を指定管理へ変更してきたところであるが、指定管理業務の最大のメリットとされる利用者のサービス向上への業務改善が求められる。 | | | | | |
| 目標 | 指定管理としている各施設の業務改善による利用者利便性の向上 | | | | | |
| 実施内容 | 各施設に応じた利用者アンケート調査などから利用者のニーズを把握し、指定管理者と業務改善方法について検討を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 指定管理者による利用者意向調査 | 調査 | 調査 | 調査 | 調査 | 調査 |
| ② | 指定管理業務改善 | 改善 | 改善 | 改善 | 改善 | 改善 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|---|
| H29 | <p>【利用者意向調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての指定管理施設で意見箱等を用いた利用者意見の聴取を行っている。 <p>【指定管理業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者意見を元に業務改善に繋げている。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施する。 今後も利用者意見を取り入れ、改善する。 |
| H30 | <p>【利用者意向調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての指定管理施設で継続して利用者意見の聴取を行っており、利用者のニーズを把握している。 <p>【指定管理業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者意見を元に業務改善に繋げている。 ○使用済のスリッパをそのまま重ねなくなった。(東藻琴環境改善センター) ○洗い場に仕切りを設置して、隣の人にお湯がかからなくなった。(フロックス) ○利用者意見に基づき、ごはんのおかわり無料や、食事をした人にはジュースを100円で提供することとなった。(地域振興施設) | <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施する。 今後も利用者意見を取り入れ、改善する。 |
| R1 | <p>【利用者意向調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての指定管理施設で継続して利用者意見の聴取を行っており、利用者のニーズを把握している。 <p>【指定管理業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者意見を元に業務改善に繋げている。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施する。 今後も利用者意見を取り入れ、改善する。 |
| R2 | <p>【利用者意向調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての指定管理施設で継続して利用者意見の聴取を行っており、利用者のニーズを把握している。 <p>【指定管理業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営実績に係るモニタリング評価を実施して、評価結果を踏まえ、管理手法等の見直しや施設の効率的かつ効果的な運用に繋げている。 | <p>今後も利用者の意見を取り入れ、また、モニタリング評価を実施し、管理手法等についての見直しを行う。</p> |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | <ul style="list-style-type: none"> モニタリングの評価基準で、記載方法、事業収支や評価結果の考え方など、所管課間でバラつきや施設によりそぐわないものがあるので、より正確な評価結果が出せるように整理する。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

2. 事務事業改善による行政サービスの質の向上

| | | | | | | |
|------------|---|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| No | 2-6 | 行政サービスの質を高める業務委託の検討 | | | | |
| 所管課 | 全課 | | | | | |
| 現状課題 | 多様化する行政サービスにおいて、他の者に委託して実施させた方が効率的なものや特殊な技術や専門的な知識を必要とする事務事業などは、これまでも、委託化は進めているが、行政サービスの質の向上につながる業務についても、状況を把握し業務委託の可能性について精査する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 特殊な技術や専門的な知識を有する民間業者の能力を活かした業務改善 | | | | | |
| 実施内容 | 特殊な技術や専門的な知識を必要とする業務において受託可能業者の調査を行い、業務委託へ向けた検討を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 委託化の検討 | 検討委託化 | 検討委託化 | 検討委託化 | 検討委託化 | 検討委託化 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | 【委託化の検討】 ・ 地域振興施設を指定管理とした。 | ・ 各事務事業の委託化について引き続き検討する。 |
| H30 | 【委託化の検討】 ・ 広域穀類乾燥調製貯蔵施設を指定管理とした。 | ・ 各事務事業の委託化については、費用対効果等を慎重に考慮し、引き続き検討する。 |
| R1 | | ・ 各事務事業の委託化について引き続き検討する。 |
| R2 | 【委託化の検討】 ・ 地域福祉センターを指定管理とした。 【民営化の検討】 ・ 認定こども園を民設民営とした。 | ・ 各事務事業の委託化について引き続き検討する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | アウトソーシングの考え方にに基づき、民間委託可能な業務や、民間事業との棲み分けを鋭意検討すべき。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| | | | | | | |
|------------|--|-------------|----------|----------|----------|----------|
| No | 3-1 | 町税等の収納対策の強化 | | | | |
| 所管課 | 住民課・福祉課・建設課 | | | | | |
| 現状課題 | 税等の収納率については、これまでの対策により一定の水準を維持しているが、滞納者の固定化などを解消し税の公平性を高めるためには、継続した取り組みが必要となる。滞納者に対する効果的な対策として行政サービスの一部停止などの仕組みを検討する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 税や料金の収納率の維持及び効果的な収納対策による自主財源の確保 | | | | | |
| 実施内容 | 収納率向上対策委員会における滞納者の折衝情報の共有と個別対応方法の協議を行い、効果的な収納対策を実施する。滞納への抑止効果を高める手法を検討し、行政サービスの一部制限などについて検討する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 滞納者に対する行政サービスの制限 | 調査 検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | 調査 検討 | 調査 検討 |
| ② | | | | | | |
| ③ | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|------------------|
| H29 | <p>【滞納者に対する行政サービスの制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収納率向上対策委員会において、税及び各種料金等の共通滞納者に係る情報を共有し、早期滞納対策の着手、滞納整理を組織で効率的に行うことができている。 ・ 各行政サービスについて、各条例等で対象となる者に町税等滞納がないことを規定しており、新たな滞納の抑止に繋がっている。 | ・ H30年度も継続し実施する。 |
| H30 | <p>【滞納者に対する行政サービスの制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収納率向上対策委員会において、税等の共通滞納者情報を共有し、滞納整理を組織で効率的に行うことができている。 ・ 各行政サービスについて、各条例等で対象となる者に町税等滞納がないことを規定しており、新たな滞納の抑止に繋がっている。 | ・ 今後も継続して実施する。 |
| R1 | <p>【滞納者に対する行政サービスの制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収納率向上対策委員会において共通する滞納者の情報を共有し、滞納整理を組織で効率的に行うことができている。 ・ 補助金の交付など、各行政サービスを受けられる要件として町税等の滞納がないことを条例等で規定しており、新たな滞納の抑止に繋がっている。 | ・ 今後も継続して実施する。 |
| R2 | <p>【滞納者に対する行政サービスの制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収納率向上対策委員会において共通する滞納者の情報を共有し、滞納整理を組織で効率的に行うことができている。 ・ 補助金の交付など、各行政サービスを受けられる要件として町税等の滞納がないことを条例等で規定しており、新たな滞納の抑止に繋がっている。 | ・ 今後も継続して実施する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 町民の税負担とサービス受給の均衡を鑑み、サービスごとに必要な制限を設けており、継続する必要がある。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| No | 3-2 受益と負担の適正化 | | | | | |
|------------|--|-----|-----|----|----|-----|
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 使用料や手数料などは受益と負担の関係や公平性の観点から一定の方針により継続して料金の適正化に努めているが、人口減少による施設利用者の状況を見据え指定管理業者の意見も踏まえながら方針の見直しを検討する時期にきている。また、各種減免制度も現状を確認したうえで課題を整理する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 課題を整理した上での受益と負担の適正化 | | | | | |
| 実施内容 | 使用料における利用者数の推移や指定管理業務の収入状況を調査し、受益と負担の適正化について課題を整理する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 使用料・手数料の適正化 | | 見直し | | | 見直し |
| ② | 減免制度の検証 | | 検証 | | | 検証 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|--|
| H29 | 【使用料・手数料の適正化】 ・ H30年度の見直し作業に向けて、使用料・手数料設定方針の改定(人件費単価等)を行った。 | ・ H30年度に第4次使用料・手数料改定を行う。 ・ 第4次改定に併せて、減免団体の見直しを行う。 |
| H30 | 【使用料・手数料の適正化】 ・ 設定方針に基づき、使用料・手数料の見直しを行った。9施設14件の使用料が改定となった。 【減免制度の検証】 ・ 使用料の減免を受ける団体について改めて整理した。 | ・ 令和3年度に第5次使用料・手数料改定を実施する。 |
| R1 | 【使用料・手数料の適正化】 ・ 消費増税に伴う使用料・手数料の改定を行った。 | ・ 令和3年度に第5次使用料・手数料改定を実施する。 |
| R2 | ・ 改定なし | ・ 令和3年度に第5次使用料・手数料改定を実施する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 公共施設や公共事務手続きのコスト変動にあった料金設定が定着しつつあり、継続する必要がある。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| | | | | | | |
|------------|---|--------------|----------|----------|----------|----------|
| No | 3-3 | 未利用財産の活用及び処分 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 未利用地や施設は、管理経費が生じるため、実態を把握した上で有効活用の検討や売却などの方向性を示す必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 未利用財産についての有効活用の検討と処分 | | | | | |
| 実施内容 | 別に進める公会計制度の取組の中で、固定資産台帳が整備されることから、未利用財産の資産価値を把握するとともに今後の有効性について検討を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 固定資産台帳による未利用財産の資産価値の整理 | 調査整理 | | | | |
| ② | 公有財産取得・処分等検討委員会での検討 | 協議 検討 | 協議 検討 | 協議 検討 | 協議 検討 | 協議 検討 |
| ③ | 町有地等利用計画の見直し | 見直し | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|---|
| H29 | <p>【公有財産取得・処分等検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産取得・処分等検討委員会を3回開催した。 ・分譲地造成事業に伴う町有分譲地の売却（3件 1,198.14㎡）を行った。 ・遊休地等町有地の売却・譲渡（2件 2,002.12㎡）を行った。 <p>【町有地等利用計画の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町有地等利用計画（2017～2026）を策定した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊休地等町有地の分譲地造成、売却を行う。 ・固定資産台帳により資産価値を把握し、有効性について検討を行う。 |
| H30 | <p>【公有財産取得・処分等検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産取得・処分等検討委員会を3回開催した。 ・用地の取得2件、町有地の売却4件 <p>【町有分譲地の売却】</p> <p>H27分譲地2件売却、H30分譲地10件売却</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・町有地等利用計画に基づき、点的に存在する遊休地等町有地の宅地分譲を行う。 |
| R1 | <p>【公有財産取得・処分等検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産取得・処分等検討委員会を8回開催した。 ・建物の取得2件、用地の取得2件、町有地の売却2件、町有地の貸付2件 <p>【町有分譲地の売却】</p> <p>H30分譲地2件売却</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・町有地等利用計画に基づき、点的に存在する遊休地等町有地の宅地分譲を行う。 |
| R2 | <p>【公有財産取得・処分等検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産取得・処分等検討委員会を2回開催した。 ・建物の取得2件、用地の取得3件、建物売却1件、町有地の売却2件 <p>【町有分譲地の売却】</p> <p>R2分譲地5件売却</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・町有地等利用計画の見直しを行い、適正な町有地の管理に努める。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29～R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善した | 町有地利用計画に基づき、貸付や分譲地の造成・売却等を行うことができた。今後は町有地利用計画の見直しを行い、さらなる町有地の有効活用に努める。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| | | | | | | |
|------------|---|-------------------|------|----------|----|----|
| No | 3-4 | 総合行政情報システム等の更新の検討 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 庁内の総合行政システムなどは、定期的な更新が必要とされ費用も多額になる。また、各課が担当する事務事業においてもシステム化が可能となっているものは費用対効果を含めた検討が必要になっている。 | | | | | |
| 目標 | 行政情報システムの運用コスト削減のためのクラウド化の検討 | | | | | |
| 実施内容 | 国が進める地方公共団体の情報システム改革を視野に入れながら、現システムの形態やコストの現状を認識し、コストシュミレーションや業務負担の軽減、災害時の業務継続性などについて考慮し検討する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 情報システムのクラウド化の検討 | 検討 | 検討 | 検討 | | |
| ② | 総合行政情報システム等の更新 | | 更新準備 | 更新 | 更新 | 更新 |
| ③ | 行政情報セキュリティ要領等の改訂及び業務継続計画策定 | 検討 | 検討 | 要領改訂計画策定 | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|--|
| H29 | <p>【クラウド化の検討等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムのクラウド化を検討した。 <p>【セキュリティ要領の改訂及び業務継続計画策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティポリシー（要領）、社会保障・税番号制度に対応した安全管理措置対応を検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き検討する。 ・要領改訂、計画策定に向けた作業を進める。 |
| H30 | <p>【クラウド化の検討等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムのクラウド化の検討及び総合行政情報システムについて令和2年度更新に向けて検討した（単独クラウド方式） <p>【セキュリティ要領の改訂及び業務継続計画策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティポリシー（要領）、社会保障・税番号制度に対応した安全管理措置対応を検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き検討する（令和2年度システム更新検討） ・要領改訂、計画策定に向けた作業を進める（令和2年度改定等） |
| R1 | <p>【クラウド化の検討等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合行政情報システムについて、令和2年度更新に向けて検討（単独クラウド方式） <p>【セキュリティ要領の改訂及び業務継続計画策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティポリシー（要領）、社会保障・税番号制度に対応した安全管理措置対応を検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度システム更新 ・要領改訂、計画策定に向けた作業を進める（令和2年度総合行政情報システム更新後） |
| R2 | <p>【クラウド化の検討等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合行政情報システムについて、単独クラウド方式によるシステムの更新を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定的なシステム運用に努める |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 総合行政情報システムは、様々な分野にわたる業務の効率化につながり、安定的な事務支援に効果がある。多額の投資であるものの、デジタル化の進展により重要性が増している。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| | | | | | | |
|------------|---|---------------------|-----|----|----|----|
| No | 3-5 | 業務改善意識を高める職員提案制度の導入 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 人口減少により財源の増加が見込まれない状況にあつては、各事業の継続性より町民の意向に即した業務改善が必要になってくる。管理や法順守、継続性や整合性を高めてきた職員の意識に、ニーズに合わせた事業改善や新たな企画提案、成果主義への意識を加えていく必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 職員提案制度を活用したボトムアップの組織形態の育成 | | | | | |
| 実施内容 | 先進的な事例を調査するなど見直しを図りながら本町に即した職員提案制度を構築し、業務改善への意識レベルの向上と、行政サービスの質を高める取り組みにつなげる。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 職員提案制度の導入 | 検討 | 検討 | 試行 | 導入 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|---------------------------|
| H29 | 【職員提案制度の導入】 ・先進事例の情報収集等行ったが、具体的な検討には至っていない。 | ・導入に向けて引き続き検討するとともに、試行する。 |
| H30 | 【職員提案制度の導入】 ・引き続き情報収集を行った。 ・職員が問題意識を持ち提案する為には組織内の業務を知る必要があるため、初任職員に対しての内部研修を実施した。 | ・導入に向けて引き続き検討するとともに、試行する。 |
| R1 | 【職員提案制度の導入】 ・先進事例の情報収集等行ったが、具体的な検討には至っていない。 | ・導入に向けて引き続き検討するとともに、試行する。 |
| R2 | 【職員提案制度の導入】 ・先進事例の情報を収集するなど、調査、検討を行った。 | ・導入に向けて引き続き検討するとともに、試行する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | ※3-6と関連 事業提案したことやその事業の評価実績が人事評価に反映されることで、積極的な提案を促す取り組みの検討 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| | | | | | | |
|------------|--|--------------------|-----|----|----|----|
| No | 3-6 | 職員の人材育成と人事考課の効果的運用 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 公共サービスの担い手が公務員から「民への移行」へ移りゆく中、職員の考え方も先例に沿って仕事を進める時代から、町の目標を理解し、課題を見出し、創意工夫をするための能力の向上が求められている。 | | | | | |
| 目標 | 職員自ら改革改善ができる人材育成と、職員の能力を活かした組織の活性化 | | | | | |
| 実施内容 | 役職と年齢に応じた段階的な能力向上のための職員研修を行うとともに、能力を活かした組織活性化のための効果的な人事考課制度※の仕組みを再検討する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 年齢や職種に応じた職員研修 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| ② | 人事評価制度の再検討 | 検討 | 検討 | 検討 | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | <p>【職員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、年齢、役職、職種に応じた研修を受講させている。外部委託研修は年4回実施。北海道へ職員1名を研修派遣した。 <p>【人事評価制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標管理型の業績評価についての情報収集が出来ておらず、人事評価制度の再検討には至っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、H30年度も継続して実施する。 効果的な人事評価制度の実現に向けて再検討する。 |
| H30 | <p>【職員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、年齢、役職、職種に応じた研修を受講させている。外部委託研修は実施できなかったが、内部研修で講師を依頼し2回実施。 初任職員（採用1年目、2年目の職員）を対象とした研修を内部で実施（研修講師は担当職員が行うという研修講師側の研修も兼ねたもの）した。 一般財団法人地域創造へ1名、北海道後期高齢者医療広域連合へ1名、職員を研修派遣した。 <p>【人事評価制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の再検討については、出来ていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、H31年度も継続して実施する。 効果的な人事評価制度の実現に向けて再検討する。 |
| R1 | <p>【職員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、年齢、役職、職種に応じた研修を受講させている。外部委託研修は年1回実施。北海道へ職員1名を研修派遣した。 平成30年度から、一般財団法人地域創造へ1名、北海道後期高齢者医療広域連合へ1名、職員を研修派遣した。 <p>【人事評価制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標管理型の業績評価についての情報収集が出来ておらず、人事評価制度の再検討には至っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、継続して実施する。 効果的な人事評価制度の実現に向けて再検討する。 |
| R2 | <p>【職員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、年齢、役職、職種に応じた研修を受講させている。外部委託研修は実施できなかった。北海道へ職員1名を研修派遣した。 <p>【人事評価制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進的な事例や業績評価への取組状況の調査を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修については、継続して実施する。 効果的な人事評価制度の実現に向けて再検討する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | ※3-5と関連 事業提案したことやその事業の評価実績が人事評価に反映されることで、積極的な提案を促す取り組みの検討 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

3. 行政経営基盤の強化と機能的組織編制

| | | | | | | |
|------------|---|----------------|------|------|------|------|
| No | 3-7 | 定員適正化と機能的な組織編制 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 合併後の職員数は、財政状況や類似団体との比較からスリム化を図るために178人から136人と計画的に減少させ一定の成果を挙げたところである。しかしながら、多様化するニーズに行政需要は増える傾向にあり、組織能力を向上させるための人員配置の適正化を検討していく必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 行政の担い手である役場組織の機能向上のための職員数及び人員配置の適正化 | | | | | |
| 実施内容 | 町民の意向を踏まえた財政需要の見通しを図りながら、財政状況を踏まえた職員定員適正化計画の進行管理及び定期的な改訂を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 定員適正化計画の進行管理と見直し | | | | | 改訂 |
| ② | 新たな行政需要に対応した組織編制の見直し | 検討実施 | 検討実施 | 検討実施 | 検討実施 | 検討実施 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|---|
| H29 | <p>【定員適正化計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定員適正化計画の進行管理と見直しについては、退職者、再任用職員の状況を見ながら、目標値になるよう採用者数を決定している。 <p>【組織編制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織編制の見直しについては、事務事業の動向、職員数の推移等を踏まえ、随時見直しを実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> 定員管理計画の進行管理と見直しについては、継続して実施する。 組織編制の見直しについては、継続して検討実施する。 |
| H30 | <p>【定員適正化計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定員適正化計画の進行管理と見直しについては、退職者、再任用職員の状況を見ながら、目標値になるよう採用者数を決定している。（採用8名、退職8名） <p>【組織編制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会に高校・認定こども園推進室を設置した。 | <ul style="list-style-type: none"> 定員管理計画の進行管理と見直しについては、継続して実施する。 組織編制の見直しについては、継続して検討実施する。 |
| R1 | <p>【定員適正化計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定員適正化計画の進行管理と見直しについては、退職者、再任用職員の状況を見ながら、目標値になるよう採用者数を決定している。（採用6名、退職6名） <p>【組織編制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織編制の見直しについては、事務事業の動向、職員数の推移等を踏まえ、随時見直しを実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> 定員管理計画の進行管理と見直しについては、継続して実施する。 組織編制の見直しについては、継続して検討実施する。 |
| R2 | <p>【定員適正化計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定員適正化計画の進行管理と見直しについては、退職者、再任用職員の状況を見ながら、目標値になるよう採用者数を決定している。（採用1名、退職5名） <p>【組織編制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織編制の見直しについては、事務事業の動向、職員数の推移等を踏まえ、随時見直しを実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> 定員管理計画の進行管理と見直しについては、継続して実施する。 組織編制の見直しについては、継続して検討実施する。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 社会情勢・事務事業の変革に対応した組織編制のためには、検討の継続が必要である。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

4. 財政運営の適正管理(マネジメント)の推進

| | | | | | | |
|------------|---|-------------|-----|----|----|----|
| No | 4-1 | 新たな公会計制度の導入 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 地方公共団体の予算、決算、財務状況は、地方自治法の法令規定により公表が義務づけられ客観的で確認しやすい単式簿記・現金主義会計を採用している。しかしながら地方分権の推進により自由かつ責任ある地域経営が求められるようになり単式簿記や現金主義では得られない情報も必要になってきている。 | | | | | |
| 目標 | ストック情報とコスト情報を把握した総合的な財務情報の提供と費用対効果分析による事業改善を通じた経営能力の向上 | | | | | |
| 実施内容 | 固定資産台帳の整備及び精度の向上を図り、複式簿記の導入を行った上でストック情報及びコスト情報を的確に把握した財務状況と経営成績の開示を行う。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 固定資産台帳の整備 | 更新 | 更新 | 更新 | 更新 | 更新 |
| ② | 複式簿記の導入 | 導入 | | | | |
| ③ | 統一的な基準による財務書類の作成 | 作成 | 更新 | 更新 | 更新 | 更新 |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|--|
| H29 | <p>【固定資産台帳整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定資産台帳を随時更新している。 <p>【複式簿記の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複式簿記を導入（国が定める基準による財務書類作成用）した。 | <ul style="list-style-type: none"> 固定資産台帳を継続して更新する。 複式簿記を導入し、他自治体との状況を比較し、財政状況の健全に努める。 |
| H30 | <p>【固定資産台帳整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、固定資産台帳を随時更新している。 <p>【複式簿記の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複式簿記を導入済 | <ul style="list-style-type: none"> 固定資産台帳を継続して更新する。 財政状況の健全に努める。 |
| R1 | <p>【固定資産台帳整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、固定資産台帳を随時更新している。 <p>【複式簿記の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複式簿記を導入済 | <ul style="list-style-type: none"> 固定資産台帳を継続して更新する。 財政状況の健全に努める。 |
| R2 | <p>【固定資産台帳整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、固定資産台帳を随時更新している。 <p>【複式簿記の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複式簿記を導入済 | <ul style="list-style-type: none"> 固定資産台帳を継続して更新する。 財政状況の健全に努める。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|-----------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 引き続き固定資産台帳を更新し、財政状況の健全に努める。 | <input checked="" type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

4. 財政運営の適正管理(マネジメント)の推進

| No | 4-2 | 公共施設の長寿命化の推進 | | | | |
|------------|--|---------------------|---------------------|--------------|----------|-------------|
| 所管課 | 総務課・建設課 | | | | | |
| 現状課題 | 本町の公共施設の多くは、高度経済成長以後に集中的に整備が進んだことから、更新の時期も一定時期に集中する恐れがある。しかしながら4-1で作成する資産台帳や公共施設管理計画などを踏まえ、補強や改修により耐用年数の延長を図り、施設更新の時期を平準化させる取り組みが必要となる | | | | | |
| 目標 | 固定資産台帳や公共施設等総合管理計画をもとにしたインフラ整備の年度間の平準化 | | | | | |
| 実施内容 | 固定資産台帳や各施設別の事業計画に基づき、施設の長寿命化を検討し、長寿命化計画等を策定又は更新する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 長寿命化計画等の策定・更新 | 下水道ストックマネジメント基本計画策定 | 下水道ストックマネジメント実施計画策定 | 橋梁長寿命化修繕計画更新 | 個別施設計画策定 | 公住長寿命化計画・更新 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|--|--|--|
| H29 | 【計画等の策定・更新】 下水道ストックマネジメントの基本計画を策定した。 | ・ H30年度、ストックマネジメント実施計画を策定する。 |
| H30 | 【計画等の策定・更新】 下水道ストックマネジメント実施計画を策定した。 | ・ 計画書に基づき下水道事業を運営していく ・ R1年度、橋梁長寿命化修繕計画を更新する。 |
| R1 | 【計画等の策定・更新】 橋梁長寿命化修繕計画を更新した。 | ・ 各計画書に基づき運営していく。 |
| R2 | 【計画等の策定・更新】 学校施設等長寿命化計画を策定した。 | ・ 各計画書に基づき運営していく。 |
| R3 | | |
| 《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》 | | |
| 課題の変化(実施結果) | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善した | 策定・更新した各長寿命化計画等を反映させ、令和3年度に公共施設等総合管理計画を見直すこととしている。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

4. 財政運営の適正管理(マネジメント)の推進

| | | | | | | |
|------------|--|------------------|----------|----------|----------|----------|
| No | 4-3 | 公共施設の有効活用と統廃合の検討 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 本町は合併していることもあり、類似する公共施設が複数あるのが現状で、整備時より人口が減少していることから町民の利用形態が変化してきている。今後は施設更新の時期を見据え、統廃合や複合的な施設に更新するなど長期的な視点による整備が必要となる | | | | | |
| 目標 | 公共施設の有効活用と多様な観点による施設更新 | | | | | |
| 実施内容 | 固定資産台帳や公共施設管理計画、長寿命化計画を踏まえた上で、施設の統廃合を検討し、更新すべき施設のタイミングや施設形態などについて検討する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 公共施設等総合管理計画の進行管理 | | | | | 見直し |
| ② | 公共施設の統廃合・更新の検討と財政推計への反映 | 検討 反映 | 検討 反映 | 検討 反映 | 検討 反映 | 検討 反映 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|--|
| H29 | 【施設の統廃合・更新の検討と財政推計への反映】 公共施設の更新や統廃合について検討し、総計ローリングに反映させた。 | ・公共施設の更新・統廃合を検討する。 ・平成32年に公共施設管理計画の見直しを予定している。 |
| H30 | 【施設の統廃合・更新の検討と財政推計への反映】 公共施設の更新や統廃合について検討し、総計ローリングに反映させた。 | ・公共施設の更新・統廃合を検討する。 ・令和2年度までに策定する個別施設計画（長寿命化計画含む）を集約して、令和3年度に公共施設等総合管理計画の見直しを予定している。 |
| R1 | 【施設の統廃合・更新の検討と財政推計への反映】 公共施設の更新や統廃合について検討し、総計ローリングに反映させた。 | ・公共施設の更新・統廃合を検討する。 ・令和2年度までに策定する個別施設計画（長寿命化計画含む）を集約して、令和3年度に公共施設等総合管理計画の見直しを予定している。 |
| R2 | 【施設の統廃合・更新の検討と財政推計への反映】 公共施設の更新や統廃合について検討し、総計ローリングに反映させた。 | ・公共施設の更新・統廃合を検討する。 ・今年度策定した個別施設計画（長寿命化計画含む）を集約して、令和3年度に公共施設等総合管理計画の見直しを予定している。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善した | 令和2年度に個別施設計画を策定し、令和3年度には公共施設総合管理計画の見直しを行い、公共施設の適正な管理に努める。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

4. 財政運営の適正管理(マネジメント)の推進

| No | 4-4 | 公営企業会計の適用に向けた検討 | | | | |
|------------|---|-----------------|-----|----|----|----|
| 所管課 | 建設課 | | | | | |
| 現状課題 | 簡易水道事業、下水道事業について、国は計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等を図るため、公営企業会計の適用に取り組むことを要請しており、平成31年度までを集中取組期間としている。本町においても、公営企業会計への移行について検討し、要否を判断する必要がある。 | | | | | |
| 目標 | 国や他の地方公共団体の状況、一般会計（公会計）の状況を把握しながら、公営企業会計の適用について判断 | | | | | |
| 実施内容 | 国が定める集中取組期間中の移行が可能となる時期までに、移行の要否を判断する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 移行要否の判断 | 検討 判断 | | | | |
| ② | 移行の準備 | | | 検討 | 準備 | 準備 |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|---|---|
| H29 | 【移行要否の判断】 ・ 検討の結果、集中取組期間における公営企業会計の適用は行わないこととした。 | ・ 今後も制度改正等の情報収集を行う。 |
| H30 | | ・ 国はR1年度からR5年度までを拡大集中取組期間とし、遅くともR6年度までには公営企業会計に移行することを求めており、期間内の移行に向けた検討・準備を進めていく必要がある。 |
| R1 | | ・ 国はR1年度からR5年度までを拡大集中取組期間とし、遅くともR6年度までには公営企業会計に移行することを求めており、期間内の移行に向けた検討・準備を進めていく必要がある。 |
| R2 | | ・ 国はR1年度からR5年度までを拡大集中取組期間とし、遅くともR6年度までには公営企業会計に移行することを求めており、期間内の移行に向けた検討・準備を進めていく必要がある。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 令和3年4月から令和6年4月1日の法適化に向け事務作業を進めている。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |

4. 財政運営の適正管理(マネジメント)の推進

| | | | | | | |
|------------|---|---------------|-----|----|----|----|
| No | 4-5 | PPP/PFIの活用の検証 | | | | |
| 所管課 | 総務課 | | | | | |
| 現状課題 | 国が推進するPPP/PFIアクションプラン（H28.5）が示され、人口減少社会の中で新たなビジネス機会の拡大や、公的負担の抑制等を図るなど、さまざまな分野の公共施設等の整備運営に多様な民間経営原理を導入することが重要とされている。 | | | | | |
| 目標 | PPP/PFIアクションプランの検証 | | | | | |
| 実施内容 | 国が推進するプランは人口20万人以上の地方公共団体を対象にしているが、本町における事業展開に可能性があるか国が示す情報を整理し検証する。 | | | | | |
| 実施予定(結果)内容 | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| ① | 情報収集及び事例の検証 | 検証 | | 検証 | | 検証 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【実施結果及び成果】

| 年度 | 実施結果及び成果 | 今後の見通し |
|-----|--|-------------------|
| H29 | 【情報収集、事例検証】 ・地域振興施設を新たに指定管理として運営開始した。（H29.4.1～H34.3.31） | ・情報収集及び検証を継続して行う。 |
| H30 | 【情報収集、事例検証】 ・広域穀類乾燥調製貯蔵施設を新たに指定管理として運営開始した。（H30.4.1～R20.3.31） | ・情報収集及び検証を継続して行う。 |
| R1 | | ・情報収集及び検証を継続して行う。 |
| R2 | 【情報収集、事例検証】 ・地域福祉センターを新たに指定管理として運営開始した。（R2.10.1～R5.3.31） | ・情報収集及び検証を継続して行う。 |
| R3 | | |

《次期計画に向けて、H29~R2年度の実施結果総括》

| 課題の変化（実施結果） | 実施内容の改善点、新たなアイデア等 | 次期計画の方向性 |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 改善した | 民間事業者との包括連携協定を活かし、民間事業との棲み分け、民間の活用ができる事業がないか鋭意検討すべき。 | <input type="checkbox"/> 効果があり完了 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 改善傾向 | | <input checked="" type="checkbox"/> 継続すべき |
| <input type="checkbox"/> 改善していない | | <input type="checkbox"/> 改善すべき |
| <input type="checkbox"/> 新たな課題が発生 | | <input type="checkbox"/> 効果が見込めない |